

甦る歴史資料群

—修復された絵図・古文書展—

期間 令和5年11月2日(木)～4日(土) 10時～17時

会場 熊本大学附属図書館中央館 1階 古文書閲覧室

同時開催

公開講演会・第17回永青文庫セミナー

古文書修復の実践と知見の蓄積

演題①

講師 藤井良昭 (修理工房幸匠株式会社 代表取締役)

甦る歴史資料群 —近世初期細川家の「御国」と「公儀」—

演題②

講師 稲葉継陽 (熊本大学永青文庫研究センター長 教授)

日時 令和5年11月3日(金・祝) 14時～15時30分

会場 熊本大学附属図書館 中央館 1階
ラーニングコモンズ

※ 聴講無料(定員130名) 当日先着順

入場・聴講 無料

当代一流の職人たちの手により甦った資料の数々を公開



共催 熊本大学附属図書館・熊本大学永青文庫研究センター

協力 公益財団法人永青文庫

後援 熊本県教育委員会・熊本市教育委員会・熊本日日新聞社

NHK 熊本放送局・RKK・TKU・KKT・KAB



熊本大学
キャンパスミュージアム



貴重資料展は熊本大学キャンバスミュージアムの一環で実施しています

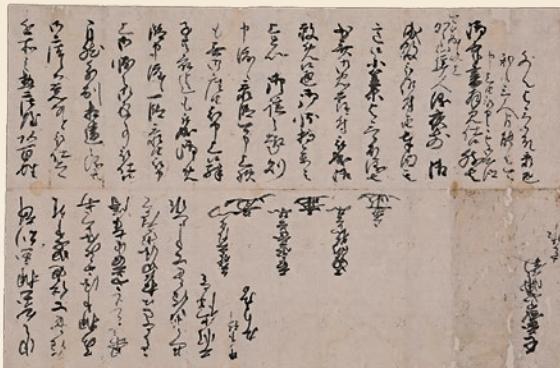
甦る歴史資料群

熊本大学は、主に「熊本大学所蔵松井家文書」のうちで特に貴重でありながら保存状態の悪い古文書を、大学公費や公益財団法人三菱財團の文化財保存修復事業助成によって修復してきた。今回の展覧会は、直近の5年間に一流の職人たちの手によって甦った貴重資料の数々を公開するものだ。

近世初期の名古屋城や駿府城の普請現場における加藤家・細川家の役割、細川忠興・忠利の人物像、キリストン弾圧や原城落城後の状況などを生々しく語る文書・絵図の数々。さらには鹿児島藩に派遣された密偵の報告書、大名領を越えて移住する百姓たちの姿や熊本藩政の実像を示すバラエティーに富んだ諸史料である。多くが初公開の史料である。

今年の熊大貴重資料展の会場は、いわば初公開史料の宝石箱となる。

忠興、キリストン家老加賀山隼人の成敗と小笠原玄也一家の助命を決断



「富嶌猪兵衛等3名書状 松井興長宛」

元和5年(1619)9月9日

(熊本大学所蔵松井家文書)

《公益財団法人三菱財團2021年度文化財保存修復事業により修復》

細川家のキリストン家老にして殉教者として名高い加賀山隼人と、かつてガラシャを介紹した小笠原少斎の子息与三郎(キリストン小笠原玄也)について、主君の細川忠興が隼人の処刑と与三郎の幽閉・助命を指示したことを示す元和5年(1619)の決定的な一次史料である。これまで二人の処分・殉教については宣教師のローマへの報告書の記述が知られていただけで、情報の不確実性を排除できなかったが、本文書は幽閉された小笠原与三郎の管理担当者3名から家老の松井興長に送られた書状の原本。2020年における本文書の発見によって、確定的な事実を知ることができたようになった。忠興、隼人、与三郎の息づかいが聞こえてくるかのような内容は、胸に迫るものがある。

1651年に熊本藩から鹿児島藩内に派遣された密偵の報告書を発見！



「村田門左衛門申上覚」

慶安4年(1651)2月27日

(熊本大学所蔵松井家文書)

《今後早急に修復が必要な文書》

慶安4年(1651)に熊本藩細川家から薩摩に派遣された密偵の報告書18カ条の原本。海外との交易関係を維持し、後には明治維新の中心勢力となる鹿児島藩だが、じつは、幕末・明治期の戦禍等によって、鹿児島にあった多くの歴史資料が失われている。17世紀中期鹿児島藩の税制、金山開発、異国船警備、琉球支配、経済・財政状況、さらには、先ごろ御楼門・本丸のあったエリアが国史跡に追加指定されることになった鹿児島城の石垣・門の構築過程や被災の状況、また一向宗の信者を屋久島などへの流刑に処していたことを示す本文書の記述は、多くが初めて知られる情報である。

近年の調査で発見され、2023年に記者発表されて大きな話題となつた文書だが、状態が悪く、早急に修復が必要とされる。

松井家文書とは

松井家は熊本藩第一家老の家柄で、代々保管されていた近世資料および典籍類(36,000点)を昭和30年代に故松井明之氏(八代市)から熊本大学附属図書館へ移管されたものである。松井家文書からは、日本の近世史研究を進展させる新たな発見が相次ぎ、現在、最も注目を集める資料群のひとつである。

アクセス



熊本大学附属図書館 <中央館>



○熊本桜町バスターミナル

(旧称:熊本交通センター)から(16番のりば)

●産交バス:

楠団地、光の森産交行等(子飼橋経由)

●熊本電鉄バス:

光の森駅行

「熊本大学前」下車 徒歩3分



※公共交通機関をご利用ください。



附属図書館支援事業～熊本大学基金へのご寄附のお願い～

皆様からの寄附は、図書館を通じての学生サービスや社会貢献を十全かつ迅速に行うための事業に活用させていただきます。

みなさまのご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【熊本大学基金】附属図書館支援事業 <https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/donation>



問い合わせ

熊本大学附属図書館

〒860-8555熊本市中央区黒髪2丁目40-1

096-342-2212

<https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/>